

## 授業科目

## 助産学実習III

|                                    |      |    |       |                  |
|------------------------------------|------|----|-------|------------------|
| 担当教員名<br>下山 博子、塚本 康子、中山 和美、山口 典子 他 | 対象学年 | 4  | 対象学科  | 看護（助産師コースのみ必修選択） |
|                                    | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択               |
|                                    | 単位数  | 1  | 時間数   | 45               |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ◎     | ◎     | ◎  | ◎     |

## 授業の概要

総合周産期母子医療センター（おもにNICU・GCU）に入院しているハイリスク児とその家族に対するケアの実際を見学し、ハイリスクな対象に対する助産活動について学ぶ。

## 授業の目的

ハイリスク児の特徴、病態生理、ME機器の特殊性を理解し、ハイリスク児とその家族に対するケア（ディベロップメンタルケア、ファミリーケアなど）について理論を用いて考察し、総合周産期母子医療センター（NICU・GCU）における看護と助産師の役割について考えることを目的に実習する。

## 学習目標

1. ハイリスク児の病態生理ならびに治療の実際について理解できる。
2. ハイリスク児とその家族に対する看護実践を見学し、必要な看護について考察する。
3. 総合周産期母子医療センターの施設役割、ME機器の特殊性を説明できる。
4. 総合周産期母子医療センター（NICU・GCU）における看護と助産師の役割について考察する。

## 授業計画

| 授業計画・学習の主題              | 学習方法・学習課題・備考                        | 担当教員                   |
|-------------------------|-------------------------------------|------------------------|
| ハイリスク児とその家族へのケアの基本となる理念 | 事前レポートにおいて、ハイリスク児への看護に必要な理論について理解する | 下山 博子                  |
| ハイリスク児の看護               | NICU・GCUにおいて、ハイリスク児の看護を見学実習する       | 下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他 |

## 使用図書

| 使用図書   | 書名                                | 著者名                | 発行所       | 発行年   | 価格           | その他 |
|--------|-----------------------------------|--------------------|-----------|-------|--------------|-----|
| 教科書    | 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア | 遠藤俊子               | 日本看護協会出版会 | 2015年 | 4,500円       |     |
| 参考書    | 助産学講座8 助産診断・技術学 I I [3] 新生児期・乳幼児期 | 横尾京子               | 医学書院      | 2013年 | 3,400円<br>+税 |     |
|        | 未熟児をはぐくむディベロップメンタルケア              | エドワード・ゴールドソン、山川孔 訳 | 医学書院      | 2005年 |              |     |
|        | 親と子のきずな                           | クラウス、ケネル、竹内徹 訳 他   | 医学書院      | 1985年 | 3,000円<br>+税 |     |
| その他の資料 | 実習要項                              |                    |           |       |              |     |

## 評価方法

事前学習レポート20%程度  
 実習レポート60%程度  
 実習内容・態度、カンファレンスへの貢献度20%程度

## 履修上の留意点

実習方法等の内容の詳細については、実習オリエンテーションで説明します。

## オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に指定しません。実習に関する質問や相談がある場合は、事前にアポイントをとってください。  
 研究室 K405（第4研究・実習棟4階）  
 連絡先 hiroko-s@nuhw.ac.jp